

普及センターだより

初夏の風味

『そらまめ』

【作り方】

そらまめは、初夏を告げる作物として知られており、ビールのつまみとして人気があります。10株程度あれば2〜3週間収穫でき、家庭菜園でも簡単に栽培できます。どんな作物？

生育適温は、他の作物と比べると低い16〜20℃ですが、冬を越すので本葉5枚までは0℃の寒さにも耐えます。土壌は弱酸性〜中性（pH 6.5〜7.0）を好み、開花期からさや肥大期にかけて乾燥すると生育不良や黄化の原因となります。連作をすると、各種病害が発生しやすくなりますので、3〜4年は輪作して下さい。種まきと植え付けは？

直まきとトロボ箱等で育苗する方法があります。品種は、打越一寸・陵西一寸等です。

直まきは、10月中旬に種をまき年内に発生する側枝を太くしておきます。トロボ箱育苗は、10月中旬に種を

に伴い側枝がのびてきたら、主茎をはさみで切り取り、側枝も10本程に整理してください。4月にトンネルと茎葉が接触したら外します。支柱は外さずに、風で茎葉が振られないよう、肩口にテープを張ってください。茎葉が1m程になったら、生長点を3本程残し、摘芯してください。その時に、株の中心に土をスコップで2杯程入れ、側枝の間隔を広げ、光が株元まで入るようになります。追肥はトンネル除去時と4月下旬に、化成肥料で30g/m²を施してください。

どんな管理をするの？

本葉5枚程度であれば、寒害を受けずに越冬します。早く収穫したい場合は、2月上旬からトンネル被覆をしますが、適度な換気をしてないと育ちすぎて、かえって寒害を受けやすくなります。3月に入り気温の上昇

収穫

莢の表面に艶がでて、上向きから下がってきた時が、収穫適期です。塩水で茹で上げてお召し上がり下さい。

山武農業改良普及センター
0475-5410227

地域安全ニュース

《悪質商法に遭わないために》

毎日のようにかかってくるセールの電話やダイレクトメールに『うんざり』している方も多いのではないのでしょうか。

情報があふれ、個人情報までもが氾濫している今日、一人ひとりが身を守る知識を持っていないと、「だまされた」という事になりかねません。

セールスそのものは法律を守っていれば、まったく問題ないのですが、「脅し文句」や「態度」で恐怖を感じるようなことがあれば、すぐに警察に通報して下さい。

悪質商法にあわないために一番大切なのは、その場で契約せずに、時間をおいて考え、第三者によく相談することです。

また、契約してしまった場合、8日以内なら無条件で解約できる場合があります。

「いりません」の一言があなたの財産を守るのです。

成東警察署 0475-8210110

無料法律相談所開設

とき 10月4日（金）午前10時〜午後3時

場所 東金市役所
相談員 千葉県弁護士会

相談事項 八日市場支部所属 弁護士4名
金銭・土地家屋の貸借、売買、遺産
相続、その他法律問題

※問い合わせ先 千葉地方・家庭裁判所八日市場支部 0479-7211300